

放課後等デイサービス いと 自己評価表

記入日:	2024 年 6 月 29 日
事業所名: 事業所名: 放課後等デイサービスいと	職員名: 藤岡香

※あてはまるところに○印し、改善点等ご記入ください

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員と指導訓練室のスペースは適切であるか	4			・用途に合わせ十分なスペースの確保がなされている。利用人数が増えると再構造化が必要。
	② 職員の配置は適切であるか	2	2		・業務マニュアルを作成し、声かけなどで業務改善ができています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	2	・構造上階段がある為難しい。安全に昇降できるよう見守りに留意している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1		・日々のミーティングや月1回のスタッフ会、都度のモニタリングを通して全職員で振り返りをしている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげているか	3	1		・事業所1周年を迎えるため初めての自己評価となる為結果を見て今後につなげていきたい。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	2	・初めての自己評価となる。結果を公開していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	・今後の課題とする。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・外部研修及び社内研修を積極的に行っている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・カンファレンス、モニタリングなど相談員を交えて行っている。学校との情報共有も積極的に行いニーズの把握に努めている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1		・スケジュールを提示し、個別にカードも使用している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			・スタッフ間で意見を出し合い作成している。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		・事業所コンセプトを意識し将来に向けた取り組みを小学生・中学生と分け、年間計画案に沿って進めていけるよう準備している。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			・個々が成長出来る課題を常に意識し作成している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			・個別、集団と分けて必要に応じたサービス計画を作成し実施している。また結果を踏まえ次へ繋げている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			・統一した支援ができるようミーティングにて職員間で情報共有している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			・ミーティングにて支援の振り返りを行い、知り得た情報を必ず伝え合うようにしている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			・話し合われた内容は議事録や業務日誌、個々の活動日誌に記載しスタッフ全員が目を通して改善に繋げている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			・モニタリングを児童の利用時間にすることで子供の様子を見る機会を作っている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4			・ガイドラインを意識してカリキュラムを構成している。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			・児童発達支援管理責任者が担当者会議に出席している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			・定期的な担当者会や学期ごとの学校での情報共有会議を持ち、児童の発達の把握に努めている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	2	・対象児童の受け入れがない。

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1		・小学生の高学年～高校生までが対象児童の為、就学前児童の利用はない。小学校や中学校との連携や情報共有は必要に応じて行っている。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	2	・対象児童はいないが今後は出てくる為、情報を共有していきたい。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	・必要に応じて行っていきたい。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	・他事業所のデイサービスや、高齢者デイサービス及び就労見学や体験など地域と繋がる機会を計画している。児童クラブなど地域の児童との活動は今後の課題である。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1		・放デイ協議会や就労の会など参加している。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・面談や送迎時、また電話連絡、モニタリング時にはでは写真付きで様子の記載した物を紙媒体でお渡しし発達の状況の共有を図っている。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	3		・必要に応じて事業所での様子を見ていただく機会をつつたり、児童に必要な支援グッズを家庭に代わり作成し使い方の説明をさせていただいている。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			・契約時に説明している。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			・必要に応じ送迎時や電話連絡、事業所内での面談等で、保護者様のニーズに対応し不安の軽減に繋げている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			・昨年6月に開所し、12月に第1回座談会(就労された先輩の母親を招き)を開催した。今年度より年2回(6月・12月)実施をする。保護者様相談員など参加予定。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			・申し入れに対して迅速に対応している。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・利用や作業の様子をブログや紙媒体(写真入り)で、保護者様や相談員さんへ発信している。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	4			・個人情報に記載された書類は持ち出しすることなく保管されている。また名前が書かれたものはシュレッダーすることを徹底している。
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			・特性を理解したうえで必要な物を用意したり配慮している。
	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	3	・今後計画していきたい。
非常時などの対応	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4			・随時マニュアルの策定を行い職員全員が周知できるよう事業所内研修を行っている。
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			・9月に活動時間中の避難訓練を行った。また3月には消防署との実施訓練予定(消火訓練)をしていたが感染症で児童数が減ったため、シェイクアウト実施及び地域の小学校(避難場所)へ避難する訓練に変更した。
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			・外部研修を含め事業者内研修を行っている。また個々の特性理解の勉強会をすることで好ましくない対応がないよう職員間で共有している。
	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			・研修を通して意識し支援に繋げている。保護者に対しても説明をし了承を得ている。
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		2	2	・現在食物アレルギー対象児童はいない。
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			・事例が起こった際はヒヤリハット報告書を作成しスタッフ会にて協議している。